

令和5年度第5回 横浜市外郭団体等経営向上委員会 会議録	
日 時	令和5年11月7日（火）[13:15~15:30]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 みなと4
出席者	寺本委員長、河合委員、黒木委員、治田委員、福田委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	○答申（案）について [議題1] 答申の構成及び前文の内容について [議題2] 団体ごとの評価分類や意見内容など
決定事項	・横浜市外郭団体等経営向上委員会答申について、おおむね案のとおりとし、最終的な確認は委員長に一任することで了承された。 ・各団体の暫定的な評価分類について、正式に決定することとした。
議 事	<p>[議題1] 答申の構成及び前文の内容について</p> <p>（寺本委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申（案）前文について、事務局と原案を作成した。答申の構成や概要について、事務局から説明してほしい。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の答申全体の構成は、前文である「Ⅰ はじめに」、「Ⅱ 外郭団体の「協約マネジメントサイクル」の推進について」、「Ⅲ 審議団体の総合評価及び協約等について」、「Ⅳ 参考資料」となっている。 ・前文では、アフターコロナなどの環境変化を踏まえ、各団体がどのように対応すべきか、市財政貢献に向けどのような検討を行うべきか等について、重点的に議論を行ったことを記載した。 ・Ⅱ「3 複数の団体及び市所管局に共通して検討や対応が求められる事項」では、「協約マネジメントサイクルにおける目標設定の重要性について」、「アフターコロナにおける団体経営について」、「市財政への貢献について」、「団体経営に対する市の適切な関与について」の4点を記載した。 <p>（黒木委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭団体は、市の行政を補完する役割があり、協約マネジメントサイクルにおける目標設定においては、市民への説明責任という観点からも団体の事業や成果が分かりやすいアウトカム指標になっているかという視点も踏まえた上で検討してほしいという意見を記載してほしい。 ・団体により財務状況が大きく異なる。アフターコロナにおける団体経営にもつながるが、財務状況について各団体が確認し、財務体質の強化にしっかりと取り組んでほしいという意見を記載してほしい。 ・団体の事業計画や経営計画と協約目標の連動や、環境変化を踏まえた経営ビジョンの見直しが適切に行われている団体は、高く評価できる。そのような良い取組については、委員会としてもしっかりと評価しているということを明らかにすることで、他の団体も追随していくことが期待できるので、答申に記載してほしい。 <p>（寺本委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申（案）前文については、原案にそれらの意見を追加することとし、最終的な調整

	<p>や確認は委員長に一任していただきたい。 →全委員同意</p>
	<p>[議題2] 団体ごとの評価分類や意見内容など</p> <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体の答申についても、事務局と原案を作成した。各団体の審議の際に行った暫定評価と併せて、事務局から説明してほしい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体の答申原案、暫定評価の状況について説明。 <p>(1) 横浜市場冷蔵株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> 特段の意見なし <p>(2) 公益財団法人帆船日本丸記念財団</p> <ul style="list-style-type: none"> 特段の意見なし <p>(3) 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社</p> <p>(黒木委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協約等(素案)にある「公益的使命の達成に向けた取組」の③「お客様満足度の追求」について、これまでの審議で「目標指標がどのように公益的使命に資するのか分かりにくいため、修正を検討してほしい」という意見があった。答申においても、次期協約策定も見据え、より直接的に経営改善につながる目標指標への変更も含めて検討すべきという意見を記載してほしい。 <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体は、売上高に対して資本金の額が大きく、現金、有価証券も多く保有している。答申において、資本金や保有資産の規模にも鑑み、資本効率の向上に取り組むべきという意見も記載してほしい。 <p>(4) 公益財団法人三溪園保勝会</p> <p>(治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体の収益向上に向け、三溪園の積極的な活用を含む抜本的な取組を進めてほしいという趣旨の文言を追加できないか。 三溪園の利活用については、市側の規制緩和等の検討と併せて、団体側の工夫もお願いしたい。三溪園の更なる活用に向け、モデル事業となるような抜本的な取組を期待したい。 <p>(5) 一般社団法人横浜みなとみらい21</p> <ul style="list-style-type: none"> 特段の意見なし <p>(6) 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会</p> <ul style="list-style-type: none"> 特段の意見なし

(7) 公益財団法人横浜企業経営支援財団

・特段の意見なし

(8) 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

(黒木委員)

・次期協約策定にあたっては、マッチング後の成果など取組効果が検証できる目標設定を検討してほしいという意見を伝えたい。

(寺本委員長)

・審議の際に話があったが、団体自らが将来構想検討委員会を設置し、経営向上に向けた取組などやり方検討を進めている点が評価できる。答申において、次期協約策定にあたっては、その議論の内容を踏まえた目標設定を期待する、という意見も記載してほしい。

(9) 公益財団法人横浜市総合保健医療財団

(黒木委員)

・この団体の役割として、若年性認知症外来の本格実施と精神障害者の受入れについて団体の持つノウハウを市内の民間事業者に広めることで、市域での認知症者等への支援の底上げへ貢献することを期待するという意見を記載してほしい。

(10) 公益財団法人横浜市建築保全公社

(河合委員)

・「持続可能な組織体制」について、人材確保と育成というように具体的に言及してほしい。

(黒木委員)

・SDGsは意味合いとして幅が広いため、脱炭素化やCO2削減などの表現に修正してほしい。

(11) 横浜ウォーター株式会社

(黒木委員)

・事業収益を確保するためにも、労務費を含めた事業別の収支管理が求められるという意見を、答申に入れてほしい。

(治田委員)

・事前に団体の中期計画を確認したが、しっかりとしたものを作っている。次期協約策定にあたっては、中期計画と連動した目標設定が求められるという意見を入れてほしい。

(12) 横浜港埠頭株式会社

・特段の意見なし

(13) 横浜ベイサイドマリーナ株式会社

・特段の意見なし

	<p>(14) 横浜高速鉄道株式会社 (黒木委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益的使命を有する外郭団体として、次期協約策定にあたっては、輸送人員だけでなく、地域の賑わい創出への貢献が測れる指標の設定も検討してほしいという意見を記載してほしい。 <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の総合評価分類は、原案のとおりで決定とする。各団体の答申については、いただいた意見を反映することとし、最終的な確認は委員長に一任していただきたい。 <p>→全委員同意</p>
資 料	<p>資料1：諮問 資料2：自己評価シート 資料3：協約等（素案） 資料4：変更協約（素案） 資料5：変更協約説明書</p>